



LabTecta® は生產品質と信頼性を向上させます

米国の製紙メーカーでは、抄紙機ジャーナル軸受からのオイル漏れが大きな問題になっていました。

抄紙機のジャーナルの軸受部分は各々グランドパッキンで密閉されており、10 週間ごとに 6～10 箇所を交換する必要がありました。軸受からのオイル漏れにより、紙の品質に関する大きな問題が発生していました。食品用の白色段ボールにオイル漏れを原因とする汚れや傷ができてしまい、数十万円の返金事案となってしまいました。

AESSEAL® は、グランドパッキンを LabTecta®RDSベアリングプロテクターに交換することを提案しました。LabTecta® RDS は分割形のシールで、機械を分解することなく簡単に取り付けが可能です。新しいシールは 2018 年 10 月に取り付けられて以降、3 年以上経ってもオイル漏れなく動作し続けています。平均故障間隔は10 週間から 169 週間以上に大幅改善され、品質問題の懸念も解消することができ、これまでに3千万円近いコスト削減を実現しました。

この新しいシールの成功体験に基づいて、お客様はその他の抄紙機も同様にアップグレードしています。製紙機械管理責任者からのお言葉：

「LabTecta® RDS の設置により、オイル漏れとそれに伴う品質問題が無くなりました。汚れや傷による返金に関するものだけでも、既に数百万円のコスト削減効果が得られました。大変満足しています。」

「平均故障間隔が 1590% 増加」

業界:	紙パルプ
製品:	LabTecta®RDS
用途:	抄紙機のドライヤーロール
平均故障間隔延長:	1590% (更新中)
節約額:	およそ3千万円 (更新中)
参照番号:	CS0111_JP

